

会 議 録

会 議 名	平成29年度第1回小金井市文化財保護審議会（第6期）		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	平成29年5月10日（水）午前10時から11時25分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801会議室（仮称）本町六丁目遺跡発掘調査現場		
出 席 委 員	二宮委員(副会長) 孤島委員 伊藤委員 鈴木委員 椎名委員		
欠 席 委 員	田中委員(会長)		
事 務 局 員	内田生涯学習課長 山崎文化財係長 高木主事（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	無
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 議 事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア 平成28年度文化財保護事業について</p> <p>ア 文化財保護審議会</p> <p>イ 文化財公開管理謝礼等交付</p> <p>ウ 文化財説明板の設置</p> <p>エ 史跡めぐり</p> <p>オ 埋蔵文化財の保護（発掘届の受理・現地立会・試掘調査等）</p> <p>カ 文化財センター事業</p> <p>イ 玉川上水・小金井桜整備活用事業について</p> <p>(2) 議 題</p> <p>ア 平成29年度の事業計画について</p> <p>2 視 察</p> <p>（仮称）本町六丁目遺跡発掘調査現場</p> <p>3 配付資料</p> <p>(1) 「宝永五年六十六部廻国供養塔」説明板設置写真（資料1）</p> <p>(2) 平成28年度小金井市文化財センター来館者数（資料2）</p> <p>(3) 玉川上水・小金井桜整備活用事業（関野橋～梶野橋の補植整備）（資料3）</p> <p>(4) 平成29年度文化財保護事業予定（案）（資料4）</p> <p>(5) 小金井市指定・登録文化財一覧（資料5-1～2）</p>		

会 議 結 果

- 山崎文化財係長 お忙しい折お集まりいただきましてありがとうございます。
本年度第1回文化財保護審議会をはじめさせていただきます。
今回の人事異動により、新たな課長となっておりますので、ご挨拶させていただきます。
- 内田生涯学習課長 4月から生涯学習課長となりました内田と申します。資産税課から参りました。どうぞよろしく願いいたします。
- (委 員) よろしく願いいたします。
- 山崎文化財係長 本日は、田中会長がご欠席となりましたので、二宮副会長、よろしくお願いいたします。
- 二 宮 委 員 田中会長がご欠席なので、本日司会を勤めさせていただきます二宮です。それでは、平成29年度第1回文化財保護審議会を始めたいと思います。本日は、この後、視察も控えておりますので、速やかに議事を進めていきたいと存じます。それでは、事務局から報告事項についてお願いいたします。

1 議 事

(1) 報告事項

ア 平成28年度文化財保護事業

(ア) 文化財保護審議会

高木主事(学芸員) 平成28年度の文化財事業について、報告いたします。まず、(ア)文化財保護審議会については、4回開催されました。その中で、2回ほど視察を行いました。

(イ) 文化財公開管理謝礼等交付

指定有形文化財が7件、指定無形文化財が3件の管理者、各所有者又は管理団体に対して謝礼を交付いたしました。謝礼金額は、有形文化財、天然記念物は、1件につき1万1千円、無形文化財は一団体について6万円の交付となっております。

(ウ) 文化財説明板の設置

資料1にある内容でございますが、宝永六年六十六部廻告供養塔についての文案を審議において協議いたしまして、その結果の文面にて、はけの森緑地2に写真のような形で、供養塔の脇に設置しております。

(エ) 史跡めぐり

野川周辺の中町や前原町周辺の遺跡を中心に計画をいたしましたが、残念ながら、荒天のため、中止となり、行っておりません。

(オ) 埋蔵文化財の保護（発掘届けの受理。現地立会い・試掘調査等）

発掘届けの受理、現地の立会い調査、試掘調査を適宜行っております。

(カ) 文化財センター事業

まず、季節展、企画展、文化財講演会、古文書講座を実施いたしました。通年の常設展示のほかに、季節展として、恒例の名勝小金井桜展を3月28日から5月6日まで実施しました。

秋の企画展示では、「小金井のまつりと民俗」をテーマに11月1日から12月25日まで開催しました。お囃子道具の実物展示に加えて、

映像展示をとりいれたことは、見学者に大変好評でした。

文化財センター年間来館者数は3,419人。1日平均とすると、11.6人。ほぼ例年並みの人数ということです。細かい内訳は、表のとおりです。また、企画展ごとの入館者数もあわせて表に記載されていますので、ご参照ください。

文化財講演会は、11月12日に仏像修復師である岩崎さんによる「修復された仏像」をテーマに行いました。仏像を見る際の基礎的知識及び、本題の閻魔王坐像の修復についての説明をしていただきました。

2月から3月にかけて3回講座で、「江戸時代の小金井市内」というテーマで古文書講座を行いました。講師は小金井市史編さん委員会調査員である太田和子さんをお願いいたしました。以上です。

二宮委員
山崎文化財係長

何かご質問かご意見がございますか。

補足させていただいてよろしいでしょうか。

(ウ)文化財説明板の設置についてですが、この説明板については、前年度新たに指定文化財となったものの設置でしたので、平成28年度東京都産業労働局観光部振興課事業の「観光まちづくり推進支援事業費補助金」の対象である「新たに発掘した観光資源の活用経費」として申請したところ、認められまして、設置経費の半額を補助金としていただくことができました。

二宮委員
高木主事(学芸員)
二宮委員

史跡めぐりは事前に申し込みをするのですか。

はい。申し込み制で応募者数は21名でした。

それでは、次の議題について、お願いします。

イ 玉川上水・小金井桜整備活用事業について

高木主事(学芸員)

資料3をご覧ください。こちらの図に沿って報告いたします。この上部の図ですが、真ん中に玉川上水が流れて、上が北側、下が南側、それぞれに桜並木が表現されています。玉川上水の中の一部、関野橋から梶野橋までの区間を切り取って図化しているものです。関野橋から梶野橋までの区間の雑木の伐採を行った後、10本のヤマザクラの苗木を補植しております。この区間につきましては、3年計画となっております、昨年度の事業を持って、整備をひとまず終了いたしました。その結果、合計38本のヤマザクラを補植いたしまして、それぞれ順調に生育しています。苗木の補植方法を左の写真にてお示ししています。右側の2枚の写真は、こちらは、整備の前、雑木を伐採する前、雑木が繁茂している状態の写真です。写真左側は五日市街道ですので、北側です。右側が、雑木を伐採した後に桜の苗木を補植した状況の写真となっております。しっかりと花もつき、桜の開花が確認できるものとなっております。見通し、風通しもよくなったことで、もともとある桜の木々へも良い効果をもたらしています。また、本事業のモデル区間である新小金井橋から関野橋までの区間内で、このたび川崎平右衛門没後250年記念事業として、平右衛門橋のたもとに1本の桜を植樹しております。今後も引き続き関係機関と協力して整備事業をすすめてまいります。以上が整備事業

の報告となります。

椎名委員 資料3の一番右側のところですが、補植の予定と書いてありますが、これは補植がすすんでいるのではないのですか。

高木主事(学芸員) 訂正します。補植が終わった本数です。

補足させてください。小金井市域の反対側の武蔵野市域につきましては、8本のヤマザクラを補植しております。小金井市と武蔵野市が足並みを揃えた形でこの区間が整備できたという、意義のある年度だったと思います。武蔵野市域のため、図化しておりませんが、小金井市とあわせて46本の補植が行われたこととなります。

二宮委員 資料3の28年度整備区間(約270m)というのは、補植した二つの長さと考えればいいのですか。

高木主事(学芸員) 3年計画で、当初は3分割で考えておりました。26年度は左側150m、27年度は120mという形ですすめていたのですが、やはり1年、2年経過していく中で、桜の枯死したもの、新たに欠損木の補植ということも発生したので、少し西側に遡った部分についても対象区間とした結果、最終年度の28年度には270mという幅を持たせて補植した経過があります。

椎名委員 これで、小金井市域分の小金井サクラの整備事業は終了したのですか。まだ残っているのですか。

高木主事(学芸員) まだ、更に西側の茜屋橋までの、半分以上の区間は残っています。

このあとご説明いたしますが、市としての考え、方針を決めて行ってまいります。

椎名委員 各市、武蔵野市、小平市、西東京市のそれぞれは、小金井市の次にどこの市と順番にやっていくのか、あるいは並列的にやっていく形になるのですか。

高木主事(学芸員) 東京都の計画に基づいて小金井市も独自の計画を策定しております。その他の3市については、そのような計画は策定されておられません。他の市の判断と東京都教育庁との連携の中で、今後行っていくものと思われませんが、小金井市が先行して行っているのは事実ですので、今後は、小金井市の結果を材料に他市にも普及していくというやり方が望ましいかと思えます。

椎名委員 武蔵野市域の8本の伐採は、小金井市のほうが28年度にやったから武蔵野市も一緒に行ったという形ですか。

高木主事(学芸員) はい。

椎名委員 私はそれでいいと思います。小金井市もよいのですが、できれば東京都にでもまとめてもらって、ビジュアルに分かるように、このように変わるといって、ビジュアルなデータを作って、それを他の3市に小金井市が説明してもいいのですが。イニシアティブを誰がとるかという問題もあるのですが。小金井市がビジュアルなデータを提供できれば。逆に言うと、東京都からその予算をもらって、そういう形のビジュアルなデータを作っていく作業が必要だと思います。東京都を援助することにほかならない。本来は東京都がやらなければいけないと思いますが

、実際にやっているのは小金井市なので、小金井市でしかデータをとることができない。回復していくプロセス。これが大事だと思うのです。それから、前に話題になった桜の下の林床、生態系が復元するというプロセスなども大事だと思います。

小平市が心配しているのは、雑木林の今の生態系が伐採によって崩れてしまうことなのです。そのへんが、サクラでも新たな生態系がきちんとできますという話ができるといいのですね。それが、他の市も小金井サクラを復活させなければならないという動機付けになるのではないかと思います。私の意見ですが。

二宮委員

ありがとうございました。今行っている小金井サクラの企画展でもこのような成果についての紹介を行っているのですよね。

高木主事(学芸員)

今回初めてパネルの展示により紹介することにしました。椎名先生がおっしゃったように、目に見える形でどのような変化が起きているのか、形としてどのような効果が出ているのかをどんどんPRしていく必要があると思います。時には人の目にふれる場所に展示して、周知を図っていききたいと思います。

孤島委員

武蔵野市で植えたヤマザクラの種類は、小金井桜と同じなのですか。

高木主事(学芸員)

小金井桜の桜並木に存在した、または現在も現存するものと、小金井桜のクローンですね。そこから持ってきております。今回は、小金井産と育てている団体の方はおっしゃっていますが、それを植えています。系譜が分かるものとして、今回は小金井産を植えています。

孤島委員

今後、小平市、武蔵野市がこれから補植していく上での連携はこれからも保たれていくのでしたらよいのですが。

高木主事(学芸員)

まさにそこは今後の大きな課題です。全エリアに植えるだけの桜を確保できるかどうか。現在小金井市内に桜の苗木を育てる場所、苗圃といいますが、それが一応確保はできていますが、今後の運営はどうしていくか。また、他の市、又は東京都で苗圃が確保できるかというところは、大きな課題となってきます。

もちろん植えるヤマザクラについては、どこのでも良いということにはならないので、小金井産、又は吉野の桜、桜川の桜という形で、本来小金井桜と変わらない、又は同一のものをやはり確保していく上でも連携は必要かと思います。

椎名委員

今の話は結構大事な話です。小平市、西東京市や武蔵野市が小金井市と同じように植樹をする場合、その材料は、各市で苗木を調達するようなくみになりますよね。そうすると、DNAが重要になってきます。

ソメイヨシノは品種ですが、ヤマザクラは種ですから、中で変化があるのです。個体差も含めて変化があるのです。分類学上は、そういう変化のここからここまでを決めてヤマザクラと称しているのですが。本当は、古いやつがあれば、一番いいのですね。穂木をとって接木をする。今はそれしかないのですね。実生だと交雑してしまうのでだめですから。おっしゃるようにそれをどこかの機関に。一番いいのは、立川の農業試験場ですね。ここは確実です。そこと連携してそろえるとか。

玉川上水で今残っている桜の半分くらいはヤマザクラです。それ以外はヤマザクラではないので、今の状態が。それは穂木に使うとだめなので、ヤマザクラで残っているものを3月くらいに穂木をとって接木にする。それと市内に玉川上水で昔植えたものの名残が何本かあるらしいのです。それも対象になると思うのです。

市内にヤマザクラの生産体制をキチンと作り、山桜のお墨付を作る。葉の色が茶色に近いもの、赤に近いものなどがいろいろある中で、正真正銘のヤマザクラをきちんと確保していくことが大切です。小金井市と教育委員会できちんと枠組みを決めて、他の市もそのしくみを倣う。このしくみを作ることが重要ですね。まだ今後、相当数植えていく予定ですから。

今回内側に植えていますので、必ずよくなりますので。後でDNAが進みます。進んだときにヤマザクラの種類が本来のものと異なったものとならないようにしておかないといけないと思います。

二宮委員
高木主事(学芸員)

他によろしいでしょうか。報告事項にその他がありますか。

3点ほどあります。2月19日に東京都と小金井市教育委員会との共同主催で、東京都遺跡調査研究発表会を市内で開催いたしました。小金井市の報告では、私が発表者となりまして、主に中世の小金井の遺跡についてご報告をしております。来場者数は430名との報告を東京都からいただいております。

2点目は、平成26年度に、枯死によって枯れたため、天然記念物の指定を解除されたマツシマ家のサンシュユの後継樹、クローンが地元の専門家の方によって関野八幡神社境内に植樹されております。

こちらの後継樹は、第3回の審議会の視察の際にご覧いただいたものです。

枯死直前に、地元の専門家の方が芽を摘んで確保しておいて、挿し木から何本かが成功したので、サンシュユという小金井にとって由緒ある樹木を後世に残すために、植樹していただくことになりました。

3点目は、これは生涯学習系の事業になりますが、文化財センターにおいて、常設展示の展示物である機織り機を活用した「機織り教室」を7月8月に行いました。のべ42名の小学校、中学校の児童、生徒が体験しております。

二宮委員

ありがとうございました。1点目については、前回資料に添付されていたかと思います。3番目の生涯学習課の企画は来年も開催されるのですか。

高木主事(学芸員)

はい。

鈴木委員

指導はどなたがされているのですか。

高木主事(学芸員)

市内の市民団体の方をお願いしております。当初は、田中委員が東京農工大学にご在籍中でいらして、そちらからご紹介していただいた方から始まったという経緯があるようです。

二宮委員

二番目については、夏に視察に行った先ですね。

高木主事(学芸員)

はい。

二宮委員 ありがとうございます。特になければ、議題の方に移りたいと思います。

(2) 議題

ア 平成29年度の事業計画

高木主事(学芸員) 平成29年度の事業について、資料4をご覧くださいながら、私の方から説明いたします。

今年度の文化財保護審議会の開催は例年と同様4回を予定しています。

文化財保護、啓発事業について

文化財管理公開謝礼については、有形民俗文化財、天然記念物は7件、無形民俗文化財は3件を予定しております。

史跡めぐりは、11月18日(土)を予定しております。東京文化財ウィーク、秋のイベントですが、市内に残る川崎平右衛門ゆかりの文化財や史跡を解説しながら案内する予定となっております。今年が川崎平右衛門没後250年ということなので、それにちなんだものを小金井市も考えております。

埋蔵文化財発掘届の受理、発掘調査を行っていきます。

発掘調査は、(仮称)本町6丁目遺跡にて、4月から開始され、7月末には終了の予定で行っております。

また、調査期間の中で、小中学校の児童、生徒を対象とした遺跡見学会を6月初旬前後に実施をします。学校で学んだ内容を実際に体験することで、理解がより深まり、ひいては若い世代からの郷土に対する愛着につなげるために行うものです。

工事主体者の再開発組合のご厚意により実現可能となりました。

更には、一般市民対象の遺跡見学会を行う予定で現在調整を行っております。

多摩郷土誌フェア、これは例年毎年立川市で行っているものです。こちらにも参加を予定しております。

文化財説明板は今年1件設置を予定しております。陣屋跡、又は梶野町にある築樋という土木遺構を候補として考えています。文案等ができましたら、審議会にてご意見を賜りたいと存じます。

文化財センターの事業を説明いたします。毎年恒例の名勝小金井桜をテーマにした季節展「小金井桜展」は(3月25日から5月28日まで)、現在、開催中です。今回から初めて整備事業の経過を紹介し、写真、パネル展示などでPRをしています。

秋の企画展は、東京文化財ウィークの関連事業の一環で、11月3日から12月24日まで開催します。文化財センター所蔵の文化財又は市内の文化財についてもあわせて紹介する予定です。

文化財講演会を11月11日(土)に開催いたします。内容はまだ未定ですが、文化財センターの所蔵資料や市内の文化財又は遺跡について、専門家を招いて講義をしていただきます。

古文書講座の実施は、2月及び3月に予定しております。

このほか、印刷物として、「青年団と浴恩館」こちらは現在在庫がなくなってもう販売しておりませんが、市民又は市外からの要望も多くきておりますので、内容はもう一度精査して、今年度改定増刷する予定です。

玉川上水・小金井桜整備活用事業についてですが、今後は小金井橋から新小金井橋までの区間のヤマザクラの補植の計画を現在たてて、調整中です。

東京都水道局による説明板の作成、設置も予定されています。この説明板の文案については、昨年度第4回の審議会でご意見をいただき、その結果を水道局に回答しております。以上が今年度の計画です。

二宮委員
孤島委員
山崎文化財係長

質問がございましたらお願いします。

多摩郷土誌フェアの日程は決まっていますか。

はい。平成29年度は、平成30年1月20日(土)、21日(日)の予定です。26市の所管課から構成される文化財部会の年度当初の総会にて決定されました。

二宮委員
山崎文化財係長

審議会の日程はどういたしましょうか。

前回の審議会の際に日程案を出しまして、確認をいただいているところですが、改めて申しあげますと、第2回目が8月9日(水)午前10時から、第3回目は11月8日(水)午前10時から、第4回目は平成30年2月28日(水)午前10時からとなります。場所はこちらの会議室をとってあります。視察先によっては、集合場所が変更となる場合もございます。よろしく願いいたします。

二宮委員
鈴木委員
高木主事(学芸員)

はい。

文化財管理公開謝礼は、金額は決まっていますか。

はい。一律有形と無形で異なります。伝統芸能などの無形文化財の場合は活動費もございますので、そのような用途に役立てていただいています。

二宮委員
高木主事(学芸員)

遺跡発掘調査に伴って、学校の見学を予定されているようですが、具体的にはどのようなことを考えていらっしゃるのですか。

周知につきましては、校長会で皆様に遺跡見学会を行うにあたって、希望される学校があれば申し込んでください。とご案内しまして、合計400名ほどの児童の申し込みがございました。それ以外に先生のみ申し込みがありまして、現在調整中です。当日は、1回20分ほどの説明、案内を予定しております。遺跡の説明は私の方で行います。発掘された実物を見て触れていただこうと考えています。発掘調査の後に倉庫に眠ってしまうことはよくあることで、学校教育の一環として位置づけて実施することとなっています。

孤島委員
高木主事(学芸員)

市内の私立の学校や国立の学校には案内をされていないのですか。

今回は、小金井市立の学校を対象としておりまして、私立の学校等は対象に入っておりません。

孤島委員

東京学芸大学付属小学校、中学校にもご案内をしてはと思いますが、実際に参加されるかどうかは分かりませんが。

高木主事(学芸員) ご希望があれば、発掘調査の進捗状況との関係から受け入れの可否を決める部分もございますので、調整させていただきたいと思います。

二 宮 委 員 初めての試みなので、楽しみです。学芸大学の日高先生の学生さんにもお声がけし、手伝ってもらおう等組織化してはどうかなどとも思ったのですが。

配付物に関する説明はありますか。

高木主事(学芸員) 私からは2つ。小金井市文化財センターにおいて、名勝小金井桜展が5月28日まで開催されています。先ほどご説明した新しい試みも是非ご覧になっていただきたいと思います。

小金井市が連携している事業ですが、川崎平右衛門にかかるイベントのチラシをお配りしています。主に21日の方に小金井市も参加するということですが。

東京都で刊行している「東京の文化財」、小金井市の同じ生涯学習部内の公民館で発行している機関紙「月刊こうみんかん」です。小金井市のさくらにまつわる記事も掲載されていますので、お読みいただければと思います。

鈴 木 委 員 21日の府中の郷土の森での学芸大学の大石先生の講演会の案内がありますが、関係自治体のトークショーには小金井市からはどなたが参加されるのですか。

内田生涯学習課長 小金井市からは、西岡市長が参加いたします。

孤 島 委 員 川崎平右衛門のイベントですが、劇団現代座という小金井の劇団が、3年連続で、川崎平右衛門関連の劇を上演しています。小金井にある現代座の劇場は30人ほどしか入らない小さな場所でしたが、今年は平右衛門没後250年ということで、府中市が大々的にPRし、収容人数の多いふるさとホールで現代座の上演をさせるイベントを企画するほど力を入れています。関連自治体である小金井市でも是非とりあげてほしいものです。

二 宮 委 員 そうですね。遺跡の見学の時間がなくなるそうなので、本日はこれで終了とさせていただきます。ありがとうございました。

2 視 察 場所：(仮称)本町6丁目遺跡の発掘調査現場
高木主事(学芸員)から説明を聞き、解散。